

令和4年7月15日

令和3年度 特別の教育課程の実施状況等について

香川県		
学校名	管理機関名	設置者の別
直島町立直島小学校（外1校）	直島町教育委員会	公立

1. 学校における特別の教育課程の編成の方針等に関する情報

学校名	特別の教育課程の編成の方針等の 公表 URL
直島町立直島小学校	https://www.niji.or.jp/school/naoshie03/contents/gaikokugo/gaikokugo.html
直島町立直島中学校	https://www.niji.or.jp/home/nao-jhs/english.html

2. 学校における自己評価・学校関係者評価の結果公表に関する情報

学校名	自己評価結果の公表 URL	学校関係者評価結果の公表 URL
直島町立直島小学校	https://www.niji.or.jp/school/naoshie03/contents/gaikokugo/gaikokugo.html	https://www.niji.or.jp/school/naoshie03/contents/gaikokugo/gaikokugo.html
直島町立直島中学校	https://www.niji.or.jp/home/nao-jhs/english.html	https://www.niji.or.jp/home/nao-jhs/english.html

3. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

(1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

- 計画通り実施できている
- 一部、計画通り実施できていない
- ほとんど計画通り実施できていない

(2) 実施状況に関する特記事項

直島小学校と直島中学校が連携して年間指導計画等の作成や系統性の吟味を行い、無理のない教育課程を編成して実施した。英語教育において小中連携を充実し、児童・生徒の発達段階に合わせた内容等を取り扱うよう配慮している。

(3) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

- 実施している
- 実施していない

＜特記事項＞

例年、直島小学校と直島中学校が連携して、「Meet the World」（児童・生徒と県内外の ALT が交流する行事）を設定し、教科や総合的な学習の時間など既習の学習内容と関連させながら、地域をテーマに発信する言語活動を行っている。本年度は、オンライン会議システムを使用して県内の ALT と交流した。

「Meet the World」等の学校行事については、保護者にも公開し、児童・生徒の活動する姿を発信している。コロナ禍においては地域住民や関係者への例年通りの情報発信は困難であったが、学校ホームページ等を活用し、何らかの情報提供ができるよう努めている。

3. 実施の効果及び課題

（1）特別の教育課程の編成・実施により達成を目指している目標との関係

本特例は、幼児学園（認定こども園）入園から中学校卒業まで、ほぼ固定化された学級集団のなかで生活する本町の子どもに対し、外国語教育を核とした系統的な教育課程を実現するものである。

直島小学校では、本特例を実施することにより、3年生以上が受験している「全国児童英検」において、全体的に全国平均を上回っている。

直島中学校でも、本特例を実施することにより、英語検定受験への意欲が高まっており、中学校卒業段階での3級以上取得率において、香川県が求める目標数値を大幅に上回っている。

（2）学校教育法等に示す学校教育の目標との関係

本特例を実施している直島小学校では、1年生から外国語活動をスタートし、楽しみながら英語に慣れていくカリキュラムを設定することにより95%以上の児童が「英語を学習することが楽しい、おもしろい」と感じている。また、直島中学校では、標準学力検査（GRT）の平均正答率について全学年で全国平均を上回っており、日々の取組の成果が見て取れる。

4. 課題の改善のための取組の方向性

本年度までの取り組みをもとに、直島小学校と直島中学校が連携しながら、オリジナルの外国語学習指導指針と教科書教材との関連を図り、それらを取り入れた新しい直島小・中学校外国語学習指導指針（「New Teaching Plan」）を完成させた。来年度以降は、「New Teaching Plan」をもとに実際に授業を行い、活用方法の検討と検証を繰り返していくことで改善を図る必要がある。

教職員が約3年周期で異動となる中で、今後も円滑な小中連携を目指し、系統的・継続的な質の高い授業を維持するために、教員研修の充実や教材開発の在り方を検討することが必要である。